

※提出は訓練後すみやかに  
※原則1部提出で可  
(控えが必要な場合は2部)

記入例

消防訓練実施結果報告書

令和〇〇年〇月〇日

倉敷市〇〇消防署長 あて

倉敷、水島、玉島、児島から該当署を選択

報告者

住所 倉敷市〇〇町〇〇番地

氏名 消防 太郎

報告者の住所、氏名を記入  
印は不要

次のとおり、消防訓練を実施しましたので報告します。

防火 (防災管理) 対象物	所在地	倉敷市白楽町162番地5			
	名称	倉敷市消防局			
	防火管理者氏名	※報告者と同じ場合は記載不要	※報告者と同じ <input type="checkbox"/>	令別表第1に掲げる区分	(15)項
	防災管理者氏名	※備考2参照	※報告者と同じ <input type="checkbox"/>	収容人員	100人
実施日時	令和〇〇年〇月〇日	時 分まで			
火災(災害)発生想定日時	夜間に発生	通報	時	分	
火災(災害)想定	地震発生に伴い給湯室から出火				
訓練参加人数	20人				
訓練種別	<input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練	<input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 <input type="checkbox"/> 避難訓練(防災管理)	<input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練		
訓練の概要	夜間想定訓練				
受付(ここは記入しないこと)	経過(ここは記入しないこと)				

「区分」と「収容人員」がわからなければ  
空欄にして提出時に確認してください。

- 備考 1 複合用途の防火対象物については、名称・収容人員について、用途区分ごとに記入すること。  
2 防災管理に係る避難訓練の場合は、防災管理者の氏名を記入し、避難訓練(防災管理)を選択すること。  
3 ※印欄は、報告者と同一の場合、「」をしてください(氏名の記入は必要ありません)。

## 令別表第 1 に掲げる区分とは

消防法では建物の用途ごとに区分が定められています。建物全体がひとつの用途の場合は分かりやすいのですが、いくつかの用途が組み合わさった場合は判定が複雑になりますので、管轄消防署に確認していただくと正確です。

代表的な用途と区分をいくつか記載します。

【用途】	【区分】
○飲食店	(3) 項ロ
○物品販売店舗	(4) 項イ
○ホテル	(5) 項イ
○共同住宅	(5) 項ロ
○病院	(6) 項イ
○老人ホーム等	(6) 項ロ
○学校	(7) 項
○特定複合用途	(16) 項イ

[⇒戻る](#)

## 収容人員について

収容人員はその建物が全部で何人収容するかを記載していただきます。  
令別表第1に掲げる区分ごとに算出方法が定められていて、実際の人数とは一致しない場合もありますのでご注意ください。  
分からない場合は管轄消防署へ確認していただくか、その場で記載していただいてもかまいません。

[⇒戻る](#)

## 訓練種別について

特定用途防火対象物の建物（飲食店、物品販売店舗、病院、福祉施設、等）については「消火訓練」と「避難訓練」を年2回以上行う義務がありますので必ず実施してください。

[⇒戻る](#)